



1. 日時 平成26年12月10日（水）4校時
2. 場所
3. 学級
4. 単元名 第3編 私たちの生活と経済
第3章 財政と国民の福祉 第2節 私たちの生活と政府のはたらき
チャレンジ公民 「税金を増やすことは必要か」

5. 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領社会編【公民的分野】内容2－(2)イ「私たちと経済」の内容である。この大項目は、個人、企業及び国や地方公共団体治の経済活動を扱い、経済活動、市場経済、財政の役割について考えさせることなどを主なねらいとしている。中項目イ「国民の生活と政府の役割」の学習では、主に財政について学習する。国や地方公共団体が果たしている役割や、財源の確保と配分という観点から財政の役割、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の1人として納税の義務について理解させることを主なねらいとしている。

本時は「税金を増やすことは必要か」というテーマで消費税増税について考えさせる内容である。現代の日本社会においては、長引く不況による低成長、国債費の増大、少子高齢社会における社会保障とその財源の確保の問題などから生活と経済、特に政府の財源確保について頻りに議論されている。主権者として日本の税金に関する課題について考えるとともに、税の負担者として自分の将来と現在の経済に対する関心を高め、経済的な事象をとらえる見方や考え方の基礎や経済を含めた現代社会に関する課題を解決しようとする態度を育てる単元であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒のこの単元に関わる意識・知識等について本単元学習前のアンケートは以下の通りである。

(※22人中21人が解答)

①	12月14日には何がありますか。【衆議院議員総選挙】	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙 16人 ・解散総選挙 1人 ・無回答 5人
②	国民の義務3つ答えなさい。 (子どもに普通教育を受けさせる義務・勤労の義務・納税の義務)	<ul style="list-style-type: none"> ・完答：1人 【誤答】子どもに普通教育を受けさせる義務→教育を受ける義務…8人
③	今の日本の人口は約何人ですか。【1億2711万3000人（平成26年6月1日）】	<ul style="list-style-type: none"> ・約1億3000万人・1億2700万人：7人 ・1億8000万人：2人 ・その他（70億人・9千万人・1億人・2億8000万人・

		3万人・11億人)：各1人 ・無回答：6人
④	今の日本の人口に関する問題や課題をあげてください。 (複数回答可)	・少子高齢化17人 ・少子化2人 ・人口減少1人 ・地方中枢都市や三大都市に人口が集中している：1人 ・無回答2人
⑤	今の日本の消費税は何%ですか。【8%】	・正答者：18人
⑥	今後(現段階では17年4月)消費税は何%になりますか。	・正答者：20人
⑦	消費税以外にあなたが知っている「〇〇税」1つでも多く教えてください。	・たばこ税：6人 ・所得税：5人 ・自動車税4人 ・酒税2人 ・法人税・関税・住民税各1人 ・無回答：7人
⑧	税金は何に使われていますか。できるだけ多く書いてください。	・公共施設：7人 ・道路：4人 ・教科書：4人 ・公務員の給料：3人 ・年金：3人 ・選挙・消防・救急車：各1人 ・無回答：5人

①より、毎時授業で新聞記事やニュースから時事問題に取り組んできた。社会の動きについて、関心は高まりつつあるが、解散総選挙と書くことができなかつたことからニュース(情報)を正確に捉える力がついていない。

②より、公民的分野で学習した「国民の義務」についての知識が定着されていない。知識・概念を習得し、思考を深めるためにも、繰り返し伝えていくことが必要である。

④より、少子高齢社会についての知識及び課題意識があると思われる。

⑤～⑦より、税・消費税についての関心・理解があると思われる。ただし、今の消費税率を知らない生徒が3人いることが問題である。

⑧より、国民の1人として、税金の使い道を知り、納税者としての態度を育てる必要がある。

(3) 指導観

本校の研究主題である「知識を活用して学力を高める学習指導の構築」協調学習の手法を用いた学習指導の工夫・改善を通して～について、「知識構成型ジグソー法」という手法を用いて思考を深める場面を築きたいと考える。「知識構成型ジグソー法」とは、次のように展開する。「①エ

キスパート活動：グループにわかれて、資料を読んだり活動したりして、1つの課題についていくつかの異なる視点から学習する。②ジグソー活動：学習したことを持ち寄って新しいグループをつくり、持ち寄った知識を組み合わせる新しい課題を解く。③クロストーク：ジグソー活動で見えてきた多様な『解』を教室全体で交流させ、各自が多様な『解』の共通点や差異を考えることで、課題についての理解を深め、自分が考えていた所より、少し適応範囲の広い『活用できる知識』の獲得を目指す」（三宅他 2011）

問題解決的な課題を設定し、生徒同士がかかわり合い学び合う場を意図的に仕組むことで、研究主題に迫りたい。生徒の思考・判断・表現力をつけるために、また、考えやすいように、ねらいの精選と簡潔明瞭な主発問にする。思考が深まることで、興味・関心が生まれ、知識や概念の定着にもつながり、「国民の主権者として日本の税金に関する課題について考えるとともに、税の負担者として自分の将来と現在の経済に対する関心を高め、経済的な事象をとらえる見方や考え方の基礎や経済に関する課題を解決しようとする態度」の育成という単元目標の達成にも近づくと考える。また、学習指導要領解説社会編【総説】「3 社会科改訂の要点[公民的分野]」で現代社会をとらえるための見方や考え方を育てるのが公民的分野改訂の主なねらいとなっている。それをふまえ、本時は税の負担者として日本の現状を捉えた上で、自分の将来とかかわらせて考えることができる資料の工夫や発問の工夫を行い、思考の深まりを目指したい。そして、生徒一人一人が財政（本時では増税について）の学習を通して、現代社会の問題に対する考察を積み重ねることで、税の負担者として自分の将来と関連させて考える視点や態度を高めたいと考える。

6. 単元の目標

- ・ 市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えることができる。
- ・ 財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えることができる。
- ・ 租税の意義と役割について考えるとともに国民の納税の義務について理解することができる。

7. 単元の評価規準

社会的な事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ●市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に対する国や地方公共団体の経済活動や財政について考えようとし、意欲的に追究している。 ●税の負担者として租税の使い道などについて理解と関心を深 	<ul style="list-style-type: none"> ●市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に対して国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。 ●財政の役割について、少子高齢化など現代社会の特色を踏まえて多面 	<ul style="list-style-type: none"> ●財政の役割や国や地方公共団体の経済活動についての様々な情報手段を用いて収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けている。

<p>めるなど納税者としての自覚を持っている。</p>	<p>的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国や地方公共団体の経済活動に関わる課題を見だし、対立と合意、効率と公正の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。 ●少子高齢社会における社会保障とその財源の確保の問題について、自分の将来と関わらせて考え、まとめ、説明している。 		
-----------------------------	--	--	--

8. 指導と評価の計画（全7時間） 本時（7／7）

第3章 財政と国民の福祉 第1節 政府の仕事と財政

時	学習内容	評 価					評価方法
		関	思	技	知	評価規準	
1	財政のはたらき				◎	財政が国民の生活を支えるためにあること、歳入と歳出の項目について理解している。	ノート 行動観察 発表
2	地方公共団体の仕事と財政			○	◎	税負担の公正なあり方及び国債の意義と現在の財政における国債の問題を理解している。 資料の読み取りから国の財政についての情報を適切に選択し、読み取っている。	ノート 行動観察 発表

第3章 財政と国民の福祉 第2節 私たちの生活と政府のはたらき

時	学習内容	評 価					評価方法
		関	思	技	知	評価規準	
1	生活を守るはたらきと社会資本の整備				◎	社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など人々の生活を向上するために果たす国や地方公共団体の役割を理解している。	ノート 行動観察 発表

2	社会保障のしくみと財政	◎			生存権を保障するためにつくられた社会保障制度について考え、関心を持っている。	ノート 行動観察 発表
3	高齢社会における福祉の充実と生きがい		◎		高齢社会の中で介護保険制度を中心とした福祉の現状と今後の課題について考えている。	ノート 行動観察 発表
4	景気の動きとその対策			◎	資本主義経済で景気の変動が起きる理由や問題点、それに対する金融政策と財政政策を考えている。	ノート ワークシート 行動観察 発表
5 本時	【チャレンジ公民】 税金を増やすことは必要か		◎	○	税制を素材にして、国の財政や社会保障問題について多面的・多角的に考え、その過程や結果を表している。資料から有用な情報を適切に読み取っている。	ノート ワークシート 行動観察 発表

9. 本時の展開

(1) 目標

税制をテーマに国の財政や社会保障問題について、既習事項をふまえて多面的・多角的に考え、その過程や結果を表現している。【思考・判断・表現】

(2) 評価規準

概ね満足であると評価される生徒の状況 (B)

テーマに対して、これまでの学習をふまえて多面的・多角的に考え、その過程や結果を自分の言葉で表現している。

(3) 準備物

【生徒】教科書 (公民的分野) ファイル ノート

【指導者】教科書 ホワイトボード (7つ) ペン (7セット) エキスパート資料A/B/C ジグソー活動用記録用紙 出席番号磁石 タイマー タブレット (借金時計)

エキスパート資料A「税制の現状：日本の税制と諸外国の税制—消費税を中心に—」

エキスパート資料B「国の財政の現状：国債費」

エキスパート資料C「高齢社会と社会保障費の変化」

(4) 学習の流れ (第2節 5時間目/全5時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 〔観点〕 (評価方法)
------	--	------------------------

<p>1 課題意識をもたせる</p>	<p>◇税制・消費税率等の復習。テンポよく答えさせる。 ◆教科書・ノートで確認させる。 「国の歳入・歳出の主な項目は何ですか。(P161)」 「税の種類は (P161)」 「今、消費税は何%ですか。」 「今後何%に増税しようと言われていますか。」</p>	
<p>2 本時のめあてを確認する</p>	<p>◇消費税増税について賛成か反対かの立場を明らかにさせる。 ◇中心発問に対する自分の立場を, 出席番号の書いた磁石を用いて意思表示させる。 ◇数名理由を発表させる。</p>	
<p><言語活動の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ●テーマについて, 既習事項やこれまでの生活, ニュース等の情報から考える。(思考力) ●考えに基づいて, 賛成もしくは反対の判断をする。(判断力) ●テーマに対して, 全員が理由をつけて自分の考えを表す。(表現力) 		
<p>【予想される生徒の答え】…不必要が9割~10割</p>		
<p><言語活動の充実> ●「なぜ」という問いによって根拠を考えさせる。単に答え探しをするのではなく, 生徒の考えの深まりや視点の拡大を図る。</p>		
<p>中心発問「なぜ, 消費税増税に賛成しているのだろうか。」</p>		
<p><言語活動の充実> ●協調学習の知識構成型ジグソー法という手法を用いることで話し合い活動の充実や思考の深まりを図る。</p>		
<p>3 中心発問に対する考えを深めていく</p> <p>エキスパート活動</p>	<p>◇エキスパート資料の配付 ◇エキスパート資料を読み込ませる。 ◆机間指導を行い, 全員が資料を読み取れるようになることを伝える。</p>	<p><言語活動の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ●伝えあう活動を通して, 相手にわかりやすく説明したり相手の話を聞いたりする力を伸ばす。(話すこと・聞くこと) <p>資料から有用な情報を適切に読み取っている〔技能〕 (エキスパート資料)</p>
<p>【資料から読み取れてほしいこと】</p> <p>エキスパート資料A：消費税について～諸外国の消費税率と日本の歳入の変化</p> <p>エキスパート資料B：国債費が増え続けていること</p> <p>エキスパート資料C：高齢化社会と社会保障費の増加</p>		

<言語活動の充実>コミュニケーション活動を通して

- 理解したことを相手に伝える力
- 聞いたことをまとめる力
- 根拠を考えさせる。

ジグソー活動

- ◇ジグソー活動の席順に移動させる。
- ◇発表・司会・記録を決めさせる。
- ◇記録係の生徒に記録用紙等を配布する。
- ◇グループで中心発問に対する答えをまとめさせる。賛成・反対だけでなく、資料をふまえて理由も書くように指示する。

思考のゆさぶり：借金時計を見せる。

クロストーク

- ◇班でまとめた意見を発表する。

<言語活動の充実>

- まとめる力（思考・判断・表現力）
 - ・資料に基づいて根拠を述べる。
 - ・自分の考えがどのように変わったか、過程や結果を書くことで思考の深まりを図る。

- 4 意見を聞き、情報を読み、最終的に自分の考えがどのように変わったか、過程や結果をノートにまとめる。

個人思考の時間

【生徒のまとめ例】

- 私は、消費税増税に賛成する理由は次のように考えました。諸外国と比較すると日本の消費税は低いと思います。自分が40歳になったとき、社会保障費はさらに増大し、国債金もおそらく増大しているでしょう。将来を考えると今のうちから少しずつ財源を確保していく方がよいと思い、消費税増税に賛成しているのだと思います。
- 私は、消費税増税によって集まった税金の使い道がこれからの将来のためだと思い、賛成しているのだと思います。経済成長するためや国民みんなの役に立つような使い方を考えてもらいたいです。

税制をテーマに国の財政や社会保障問題について、既習事項をふまえて多面的・多角的に考え、その過程や結果を表現している。【思考・判断・表現】

(ノート)

- 5 次回にむけて

- ◇中心発問に対する自分の立場を、出席番号の書いた磁石を用いて意思表示させる。

<言語活動の充実>

- 学習を通じて、考えの深まりや変化を確認する。(思考力・判断力・表現力)

	◇「賛成の人の考えを知りました。ではみんなは消費税増税に賛成か反対か次回議論してみたいと思います。」	
--	--	--

板書計画

<p>12/10 (水)</p> <p>「なぜ、消費税増税に賛成しているのだろうか。」</p> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">1 グループ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">3 グループ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">7 グループ</div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">次回：あなたは消費税増税に賛成ですか，反対ですか。</p>	<p>復習</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">国家財政の歳入・歳出の主なもの</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">税の種類</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">消費税 8% → 10%</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">消費税についての世論調査グラフ</div>
---	---

【引用資料】

財務省ホームページ <http://www.mof.go.jp/> 「もっと知りたい税のこと 平成 25 年 7 月」

OECD ホームページ <http://www.oecd.org/tokyo/>

風早健史 2013 「今がわかる時代がわかる世界地図」 成美堂出版